

Windows 10の最終版は「バージョン 22H2」 サポート終了は2025年10月14日 Microsoftが発表

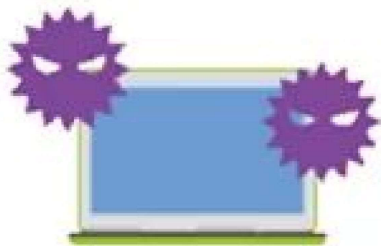
Microsoftは4月27日（現地時間）、現行の「Windows 10 バージョン22H2」がWindows 10の最終バージョンとなることを発表、Windows 11への移行をユーザーに促している。サポート終了の2025年10月14日に変更はない。Windows 10をサポート終了まで使い続ける場合は、最新の22H2に更新し、サポート終了までセキュリティ更新プログラムなどを適用する必要がある。

サポートが終了すると、PCに必要な更新が受けられなくなります

メインストリーム サポートに加え延長サポートも含めたすべてのサポートが終了すると、仕様変更や新機能のリクエスト、セキュリティの更新プログラム、無償 / 有償サポートなど、マイクロソフトが提供する重要な更新を含むすべてのサポートが受けられなくなります。

サポートが終了した PC を使い続けることは、たいへん危険です

マイクロソフトでは製品の発売以降に発見されたプログラムの不具合やセキュリティ上の問題点を修正するために、セキュリティ更新プログラムを提供しています。コンピューターを安全にお使いいただくには、セキュリティ更新プログラムを定期的に適用することが重要です。マイクロソフトの延長サポートが終了後はセキュリティ更新プログラムの提供が行われなくなり、セキュリティ上たいへん危険な状態になります。できる限りサポート期限に余裕のある最新の PC の使用をおすすめします。



マルウェアへの感染
未知のウイルスによる被害



フィッシング詐欺
なりすましの被害



個人情報 漏えいの危険性